

2021 年度
事業計画書



学校法人 藤学園

目次

1 学園の概要.....	1
(1) 建学の精神.....	1
(2) 藤学園の沿革.....	2
(3) 藤学園の未来共創ビジョン.....	3
2 2021年度事業計画の概要.....	4
(1) 藤女子大学.....	4
【1】基本方針.....	4
【2】重点項目.....	4
【3】教育・研究事業計画.....	4
【4】施設・設備事業計画.....	5
【5】その他の事業計画(人事・財務等).....	5
(2) 藤女子中学校・高等学校.....	5
【1】基本方針.....	5
【2】重点項目.....	6
【3】教育・研究事業.....	6
【4】施設・設備事業計画.....	7
【5】その他の事業計画(人事・財務等).....	7
(3) 幼稚園 各園.....	7
【1】基本方針.....	7
【2】教育・研究事業.....	7
【3】施設・設備計画.....	8

1 学園の概要

(1) 建学の精神

教育基本法及び学校教育法に従い、設立母体である殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会が掲げるカトリックの精神に基づいて、人間性豊かな教育を行うことを目的とする。

藤 学 園 の 教 育

ひとりひとりの 咲くべき花を 咲かせよう
うつくしく やさしく しなやかに

藤学園の教育は、キリスト教の愛の精神に基づいて、
全人格的な人間育成を目指しています。

カトリックとは「普遍」の意味であり、
特定の民族・人種・国家・文化などに
とらわれない教えであることをあらわしています。

それぞれの教育段階に応じて
知的、精神的、宗教的真理の探求に励み、
人々への貢献、女性としての固有の特性を正しく認識し、
賢明にして包容力のあるあたたかい謙虚な人格を
育てるように努めています。

また、神に愛され生かされている自己の存在の神秘を知り、
聖なるものへの感謝と
畏敬の念を大切に育てることを目標にしています。

(2) 藤学園の沿革

1920(大正9)年本学園の創設者であるキノルド司教は、札幌での布教活動の中で、北海道の発展のためには、とりわけ、女子教育が最も重要であると考え、本国ドイツから修道女を招きました。師とともに3人の若き修道女は、信仰心に支えられた情熱と勇気をもって、異国の地札幌に確固とした愛の教育の根を下ろし、今日の藤学園の礎を築きました。

1925(大正14)年「札幌藤高等女学校」として入学者167名で発足しましたが、その後の出生数の急増等に伴い、道内を中心に幼稚園、高等学校、大学等を相次いで開設いたしました。

1934年には、現在の小樽にマリア幼稚園(現小樽藤幼稚園)を開設し、続いて1938年に札幌市に藤幼稚園を開設し、その後も函館藤幼稚園、旭川藤幼稚園、青森藤幼稚園、苫小牧藤幼稚園、草加藤幼稚園、大麻藤幼稚園の8園を1968年までに開設しています。

また札幌藤高等女学校は、1948年に新制度施行に伴い、藤女子高等学校全日制課程普通科、同中学校として承継されています。

1947年には、専門学校令により藤女子専門学校(国語科・生活科)が認可され、続く1950年に藤女子短期大学(国文科・英文科・家政科)の開設へと引き継がれています。

1953年には、藤学園旭川高等学校(現旭川藤星高等学校)を開設、翌年藤学園旭川中学校、新懇藤学園中学校を開設し、1958年には北見藤女子高等学校(現北見藤高等学校)、同中学校を開設、1958年には新懇藤学園高等学校を開設しています。

1961年には、北海道初の女子大学として、藤女子大学文学部(英文学科・国文学科)を開設し、1992年には人間生活学部(人間生活学科・食物栄養学科)を設置、2000年には短期大学を改組し、文学部に英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科の3学科、人間生活学部人間生活学科、食物栄養学科、保育学科の3学科を設置し、2002年には大学院人間生活学研究科を開設しています。また、2020年4月には保育学科を改組し、小学校教諭養成課程を併設した、子ども教育学科を設置いたしました。

創立から90有余年を経るなかで、学園開設の各校は、社会情勢の変革の中で、カトリックを理念とする教育の進展のため、一部の学校は共学化にともない設置者を変更するなどの改変を行い、2021年度の藤学園は、幼稚園5園、中学校1校、高等学校1校、大学1校の8校を設置し、在籍者数3千2百余名を擁する総合学園として「建学の精神」を受け継ぎながら、さらに教育研究の充実に努めてまいります。

(3) 藤学園の未来共創ビジョン

藤学園は、2025年に大きな区切りとなる学園創設100周年を迎えますが、その歩みは、カトリック札幌教区初代教区長ヴェンセスラウス・キノルド司教が、「北海道の未来は女子教育にある」との確信のもとドイツから招聘したシスターたちによって、1925年に開設した北海道初の5年制の札幌藤高等女学校に始まります。爾来、幼稚園・中学校・高等学校・大学を擁する総合学園として今日を迎えています。

100周年を越えて次代に繋がる第2世紀を見据えて、園児・生徒・学生・教職員・保護者・卒業生が共に学園の未来を創造することを目指して、2030年までの学園のビジョンとして「藤学園の未来共創ビジョン」を定めました。

◇◇◇藤学園の未来共創ビジョン◇◇◇

◎ 未来の平和と共生社会に貢献する人材育成

- 未来を切り拓く藤～学びから創造力を養います
- 地域とつながる藤～社会貢献を推進します
- 世界ではばたく藤～国際理解・交流を深めます
- 個性の花咲く藤～チャレンジを応援します
- 信頼される藤～学生・生徒・園児を守る環境を整えます

◎ 具体的目標

- キリスト教的人間観に基づく人間教育
- 共生社会に必要な人間理解と国際理解
- 子どもたちの健全な成長に貢献
- 世界の貧困・飢餓・難民問題に貢献できる人材育成
- 母なる地球の環境に対する意識を涵養
- 卒業生・保護者との連携強化

未来を担う女性、未来を育てる女性として、一人ひとりに与えられた個性豊かな能力を開花させるよう、心豊かで自立心に富み、創造性と知性に溢れた人間を育てます。

幼稚園・中学校・高等学校・大学のそれぞれの成長段階に応じた具体的目標を立て、その実現を目指します。

2 2021年度事業計画の概要

2021年度の藤学園は、昨年パンデミックが宣せられた「新型コロナウイルス感染症」の感染予防・防止に最大限の配慮のもと、設置する各校の学生・生徒・園児の健康と安全を第一義として、優れた教育研究の充実に取り組んでまいります。

設置する各校は、その教育環境に合わせたコロナ禍対策を継続し、学校生活に不安や不利益が生じないよう万全を尽くします。また、教職員においても感染予防を徹底し、安心して業務に専念できる体制を推進いたします。

学園創設100周年へ向けての記念事業は、昨年立ち上げた藤学園創立100周年記念事業実行委員会にて記念誌の発刊・講演会等さまざまな事業を検討しております。

2021年度は9月に藤学園講堂において、実行委員会のアドバイザーによる企画の下に、札幌交響楽団のコンサートマスターをはじめとした楽団員の皆さまと、藤女子中学校・高等学校オーケストラ部の生徒たちなどとの共演により、昨年生誕250周年の記念年を迎えた楽聖ベートーベンの『田園』への旅」と題する音楽劇の上演を予定しています。

(1) 藤女子大学

【1】基本方針

- ・教育研究活動の持続性を保証するための財政基盤の確立
- ・学生生徒等納付金収入の安定確保
- ・人件費・物件費の総額抑制

【2】重点項目

- ・新年度入学者の定員比100%充足(総合型選抜入試等における新たな受験者層の開拓と確保)
- ・2022年度からの入学定員振替(人間生活学科定員減、文学部定員増)に向けた環境整備
- ・ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた学修環境の整備(「Glexa」や「ZOOM」を活用したハイブリッド型授業環境の構築)
- ・広報体制の整備と学内情報の一元管理
- ・研究業績の評価及び研究成果の公開促進(研究業績プロの実用的運用に向けた整備、「researchmap」との連携)
- ・大学認証評価(2023年度実地調査)に向けた準備
- ・安全・快適なキャンパスの整備、教育研究環境の向上

【3】教育・研究事業計画

- ・入学前・初年次教育の充実(e-learningの全学的な導入・推進、初年次学生対象のオフィスワーカー制度の充実)

- ・学修支援体制の構築(学生個々の学修履歴の記録・振り返り等を支援する仕組みの構築、SA (Student Assistant)活動の拡大)
- ・国際交流の推進(教養科目における国際理解教育の充実、英語運用能力養成の実効性を高める英語教育プログラムの充実)
- ・GPA(Grade Point Average)の活用と成績評価の厳格化
- ・FD(Faculty Development)の強化
- ・LMS(Learning Management System)の積極的活用、学習成果の可視化(目標・指標化)の実現
- ・科学研究費等外部資金の申請・採択率向上への取り組み
- ・進路支援体制の充実、キャリア教育に必要な科目や機会の提供
- ・災害時等における学生との緊急連絡体制の確立
- ・地域社会に向けた取り組みの推進・強化(公開講座・講演会等)
- ・産学官連携事業の推進・活性化
- ・生涯教育の推進、社会人の学びをサポートする体制の整備
- ・IR(Institutional Research)の推進、教育研究活動における諸情報の集約・整理・分析

【4】施設・設備事業計画

- ・北 16 条校舎講堂棟 屋上防水工事
- ・花川校舎トイレ洋式化・バリアフリー化(文部科学省補助金申請)
- ・図書館花川館、花川コンピュータ室換気設備更新(文部科学省補助金申請)
- ・セミナーハウスのバリアフリー化(文部科学省補助金申請)
- ・花川校舎体育館 Wi-Fi 整備

【5】その他の事業計画(人事・財務等)

- ・人件費の削減方策に関する検討(非常勤講師、開講科目数等)
- ・新たな予算策定方式(管理会計に資する業務目的別予算等)の検討
- ・新たな奨学金制度の検討
- ・SD活動の組織化
- ・同窓会(卒業生)との連携・交流推進
- ・藤女子中学・高等学校との連携・交流の強化

(2) 藤女子中学校・高等学校

【1】基本方針

- ・2016 年度から 5 か年計画として策定した「藤学園が設置する中学校・高等学校における新たな行動計画『ニューアクションプラン』」の成果を点検・評価し、新たに策定した「藤女子中学校・高等学校未来共創ビジョン」の具現化を図る。

【2】重点項目

- ・未来を切り拓く藤～学びから想像力を養います
～ 変化の激しい時代にも対応できる学びの質を追求し、生徒が豊かな教養と生涯学び続ける姿勢を身につけるように導きます。
- ・地域とつながる藤～社会貢献を推進します
～ 生徒が良心に従って誠実に行動し、家庭や社会の中で他者のために貢献できるよう導きます。
- ・世界ではばたく藤～国際理解・交流を深めます
～ 生徒が多様な文化への理解を深め、国際人としてのコミュニケーション能力を高められるよう導きます。
- ・個性の花咲く藤～チャレンジを応援します
～ 一人ひとりの生徒を神から愛されているかけがえのない存在として尊重し、自己肯定感を高め、視野を広げる学びの場に生徒が挑戦できるよう導きます。
- ・信頼される藤～生徒を守る環境を整えます
～ 安定的な学校運営を行い、災害等あらゆる危機から生徒を守り、安心して学ぶことができる環境を整えます。

【3】教育・研究事業

- ・本校の教職員として果たすべき使命や役割を再確認し、各自の年度内目標を達成する。
- ・カトリック学校の教職員としてその理念を具体的に教育活動に生かすために、また対話による女子教育を深めるために研修を行う。
- ・日常の挨拶、マナー教室・講座、生活指導のあり方など、生徒の発達段階に対応した6ヶ年の女子教育プログラムを実践する。
- ・伝統的に行われている宗教行事や瞑目、清掃指導の意義や実施方法を再確認し、全教職員が一体となって取り組む。
- ・65分授業に対応した各教科ごとの6年間の指導計画(シラバス)に基づき、学習到達度をベースにした評価法を検討する。
- ・授業改善・授業力の向上に努め、保護者授業見学日には教職員も相互に授業見学を行う。また、65分授業についての研究発表等を実施する。
- ・中学学力推移調査、高校模擬試験の結果から学年・教科ごとの課題を職員会議等で共有し、各層の生徒を伸ばす効果的なプログラムを実践する。
- ・生徒が自学自習の習慣を身につけ、家庭学習時間を確保するための6か年の進路指導計画を構築する。
- ・思考力・判断力・表現力を深めるために生徒がより主体的に取り組む行事の在り方を検討し、その成果を検証する。
- ・ICTを活用した授業・行事の研究と、校舎内の安定したインターネット環境の整備を行う。

- ・LHR や行事を通して身近な環境問題や社会福祉活動等について学び、生徒のボランティア活動を促進する。
- ・学校祭、オーケストラ部定期演奏会を広報し、地域住民との交流を行う。
- ・授業や行事を通して世界の貧困・飢餓・難民問題等について学び、その解決のための具体的な行動を促す。
- ・国際教育の在り方を精査し、オンラインによる交流等多様な国際交流等を検討する。
- ・英語力の向上を目指し、LC のレベル別選択授業や英検講座等の内容を充実させる。
- ・SHR での瞑目や祈りを大切にし、生徒が物事の良い面を見つめ、感謝できるように導く。
- ・自己肯定感を高め、視野を広げるような学びの場を提供し、生徒の振り返りを十分に行う。
- ・成績優秀な新入生に対してクサベラ・レーメ奨学金を給付し、就学支援を行う。
- ・保護者との連携を強化するため、時代に合った教務システムを推進する。
- ・感染症発生・災害時に対応できるよう備蓄品を確保し、教職員で定期的な訓練を実施する。また危機管理マニュアルを整備する。
- ・PTA におけるより活動しやすい体制を検討し、保護者と教職員の協力の元で実施・運営していく。
- ・生徒数に応じた学級数と人件費などの適正化を行い、安定した学校経営を行う。

【4】施設・設備事業計画

- ・施設及び設備の適切な維持管理、施設の長寿命化を図る
～校舎外壁タイル改修工事・ボイラー給水ポンプ分解整備等
- ・)新型コロナウイルス対応も踏まえた ICT 機器類等効果的な運用と備品等の環境整備
～校内WiFi 設備増強工事

【5】その他の事業計画(人事・財務等)

- ・効率的かつ効果的な教職員配置
- ・事務ポータルサイトの活用等による事務効率の向上
- ・創立 100 周年記念事業実行委員会のもとの事業の調整・実施

(3)幼稚園 各園

【1】基本方針

- ・キリスト教の人間観に基づき、一人ひとりの子供をかけがえのない存在として大切に育み、健全な心身の発達と人格形成の基礎を培う教育

【2】教育・研究事業

- ・モンテッソーリ教育の充実を図るため、教職員の研修機会を積極的に付与する。

- ・新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底し、園児と教職員の健康と安全を最優先としながら質の高い教育・保育を継続する。
- ・幼児の発達段階に応じた遊具・教材等の充実をはかり、一人ひとりの子どもたちが自ら考えて楽しめる教育を進展させる。

【3】施設・設備計画

- ・施設の経年劣化による改修工事
- ・パソコン・WiFiルーター等のICT環境整備

以上